



静岡市 いきもの 散歩マップ

鯨ヶ池コース

むし

● カラスアゲハ



4～9月まで3回ほど発生します。花の蜜を好みますが、夏は谷間の湿った道路で給水することもあります。

● モンキアゲハ



大型のアゲハチョウの仲間。後ろのはねの大きな黄白色斑が目立ちます。平地～丘陵地の樹林地にすみ、幼虫はカラスザンショウを食べます。

● アカタテハ



中型のタテハチョウの仲間。前のはねの中央の赤い斑紋が目立ちます。成虫で越冬するので、早春から見られます。

● アサマイチモンジ



中型のチョウで、平地～山地の林のまわりにすんでいます。成虫は5～9月に見られます。

● コミスジ



はねを広げると5cmくらいの黒地に白い3本筋のあるチョウです。成虫は4～10月に見られます。

● ヒカゲチョウ



中型のジャノメチョウの仲間。主に低山地の樹林地や公園に生息し、夕方にも活発に活動します。タケ、ササの仲間を餌にします。

● ベニシジミ



3cmくらいになる小さなチョウで、堤防や畑のまわりなどでよく見かけます。成虫は3～11月に発生します。

● ヤマトシジミ



人家のまわりでもよく見られます。幼虫はカタバミを食べ、成虫は3～11月に見られます。

● クロイトトンボ



黒っぽいはねを持つイトトンボの仲間です。オスのからだは緑色にカガヤいています。平地や丘陵地の河川沿いにすんでいます。

● セスジイトトンボ



オスは腹部黒く、尾の先に2つ以上の青い節のあるイトトンボのうち、背中黒いもんに入る種類です。主に平地などの池や沼にすんでいます。

● ハグロトンボ



黒っぽいはねを持つイトトンボの仲間です。オスのからだは緑色にカガヤいています。平地や丘陵地の河川沿いにすんでいます。

● チョウトンボ



はねを広げると7cmくらいで、青く幅広いはねでチョウのようにヒラヒラ飛びます。成虫は5～9月に見られます。

● コシアキトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボの仲間です。黒色の腹の一部分は白くすて見えます。成虫は5～10月に見られます。

● ミヤマアカネ



アカトンボの仲間。はねにある濃茶色の帯が特徴です。主に山地にすみ、6～11月に見られます。

● コフキトンボ



シオカラトンボよりやや小さく、ずんぐりしたトンボです。オスのからだは薄い青色で、白っぽい粉で覆われるのでコフキと呼ばれます。

● ウチワヤンマ



はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにうちわ型の突起があります。成虫は5～9月に見られます。

アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. しずかつバス静岡駅前北口バスターミナル9番乗場より「安倍線」に乗り。
 2. 「鯨ヶ池入口」にて下車（静岡駅より約26分）。
 3. 鯨ヶ池入口から鯨ヶ池まで、徒歩約20分。

緊急連絡先

- ・ 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・ 消防 119番
- ・ 警察 110番

注意事項

- ・ ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・ 里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・ コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- ・ 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成27年2月

とり・どうぶつ

● ハクセキレイ



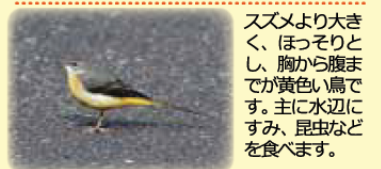
セキレイの仲間。体の色が灰色で、顔は白色です。水辺だけでなく、街中でも見かけます。

● セグロセキレイ



全長21cmくらいの小鳥で、頭から背中にかけて黒色です。主に水辺で1年中見られます。

● キセキレイ



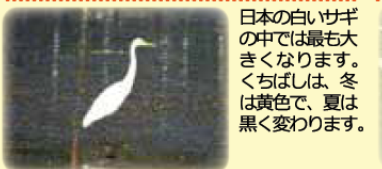
スズメより大きく、ほっそりとした胸から腹までが黄色い鳥です。主に水辺にすみ、昆虫などを食べます。

● ケリ



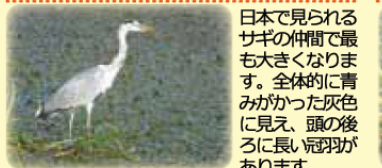
足の長い大型のチドリ仲間。東日本では1年中見られます。水田、畑などで繁殖します。「キリキリッ」と鳴きます。

● ダイサギ



日本の白いサギの中では最も大きくなります。くちばしは、冬は黒く変わります。

● アオサギ



日本で見られるサギの仲間中最も大きくなります。全体的に青みがかった灰色に見え、頭の後ろに長い冠羽があります。

● ミサゴ



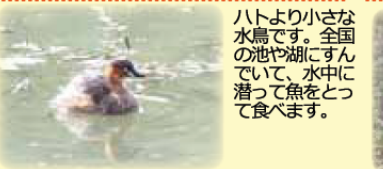
全長50～60cmくらいのタカで、海岸のほか、内陸部の湖沼、広い河川、河口等にもすんでいます。

● カワウ



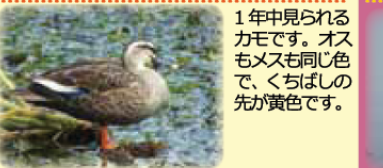
魚を主食とする大型の水鳥です。近年数が増えて、あちらこちらで見られるようになっています。

● カイツブリ



ハトより小さな水鳥です。全国の池や湖にすむカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲には3本の縦すじがあります。

● カルガモ



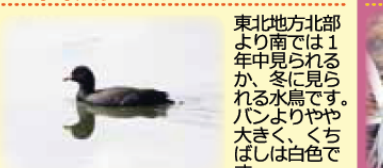
1年中見られるカモです。オスもメスも同じ色で、くちばしの先が黄色です。

● パン



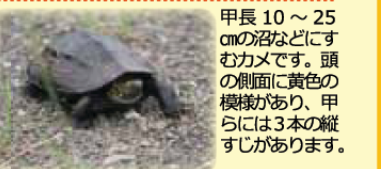
関東地方より南では1年中見られる水鳥で、クイナの仲間です。ハトくらいの大さで、くちばしの根元が赤くなります。

● オオパン



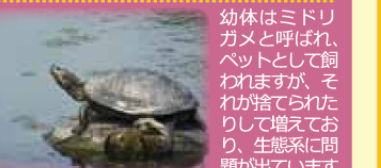
東北地方北部より南では1年中見られるが、冬に見られる水鳥です。パンよりやや大きく、くちばしは白色です。

● クサガメ



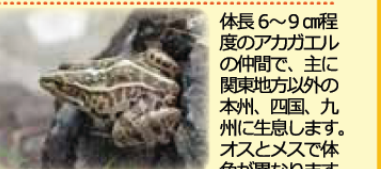
甲長10～25cmの沼などにすむカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲には3本の縦すじがあります。

● ミシシippiacamimigame



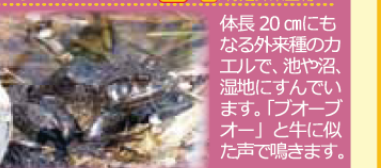
幼体はミドリガメと呼ばれ、ペットとして飼われますが、それが捨てられたりして増えており、生態系に問題が出ています。

● トノサマガエル



体長6～9cm程度のアカガエルの仲間。主に関東地方以外の本州、四国、九州に生息します。オスとメスで体色が異なります。

● ウシガエル



体長20cmにもなる外来種のカエルで、池や沼、湿地にすんでいます。「ブーブー」と牛に似た声で鳴きます。

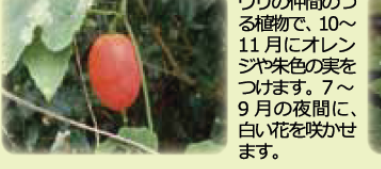
しょくぶつ

● カキドオシ



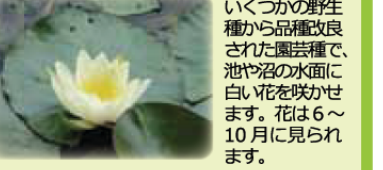
シソの仲間。低地の草地や道ばたに生える多年草です。4～5月に赤紫色の花を咲かせます。

● カラスウリ



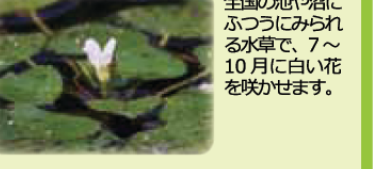
ウリの仲間のつる植物で、10～11月にオレンジや朱色の実をつけます。7～9月の夜間に、白い花を咲かせます。

● スイレン



いくつかの野生種から品種改良された園芸種で、池や沼の水面に白い花を咲かせます。花は6～10月に見られます。

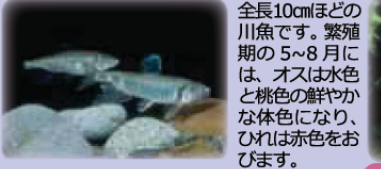
● ヒシ



全国の池や沼にふつうにみられる水草で、7～10月に白い花を咲かせます。

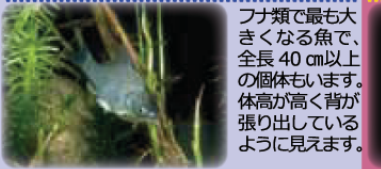
さかな

● オイカワ



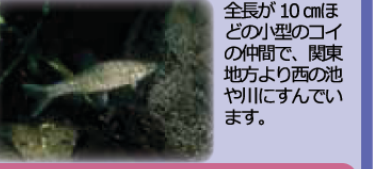
全長10cmほどの川魚です。繁殖期の5～8月には、オスは水色と桃色の鮮やかな体色になり、ひれは赤色をおびます。

● ヘラブナ (ゲンゴロウブナ)



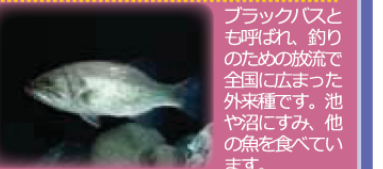
フナ類で最も大きくなる魚で、全長40cm以上の個体もいます。体が高く背が張り出しているように見えます。

● モツゴ



全長が10cmほどの小型のコイの仲間。関東地方より西の池や川にすんでいます。

● オオクチバス



ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流で全国に広まった外来種です。池や沼にすみ、他の魚を食べています。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)